

令和8年度6月補正予算の概要

令和8年6月萩市議会定例会

令和8年6月

萩市総務部財政課

● 今回補正する会計の補正予算額

補正予算を計上する会計は、一般会計（15事業のうち新規2事業・拡充2事業、債務負担行為補正3事業）です。

補正予算を計上する会計	補正号数 (回数)	今回の補正予算額
一般会計	第2号	1億175万9千円

● 一般会計

1. 補正予算の主な概要

今回の補正は、福祉施設における光熱費や食材価格の高騰に伴う経費を支援する事業、高齢者施設の老朽化に伴う改修を支援する事業、生活保護費を追加給付する事業、萩まぢゅう博覧会の開催を追加支援する事業、観光モデルを創造する研究プロジェクトを実施する事業、萩往還梅林園休憩所の屋根を改修する事業、学校給食における食材価格の高騰に伴う経費を支援する事業等、市勢の発展及び市民の生活を守るために必要な事業を計上するものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
317億3,678万2千円	1億175万9千円	318億3,854万1千円

3. 補正予算額の財源手当

歳入項目	補正予算額	備考
国庫支出金	4,191万1千円	
県支出金	1,177万8千円	
寄附金	2,670万円	
繰入金	1,497万円	基金繰入金
諸収入	470万円	雑入
市債	170万円	
合計	1億175万9千円	

4. 歳出予算の主な事業内容

●コミュニティ助成事業（370万円）

【予算説明書9ページ 地域振興費】
（担当課：市民活動推進課）

地域コミュニティの活性化を目的とした、一般財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業（活動に直接必要な備品等の整備）について、以下のコミュニティ組織が事業採択を受けたことから、市が助成金を受け入れ、同額を補助金としてコミュニティ組織に交付します。

事業内容：田万川ふるさとづくり協議会 ノートパソコン、液晶プロジェクター等の購入
旭地域コミュニティ協議会 アルミテーブルの購入

[財源内訳] 雑入（コミュニティ助成事業費） 370万円

●障害福祉サービス電算システム改修事業（154万円）

【予算説明書 9 ページ 障害者福祉総務費】
（担当課：福祉支援課）

障害福祉サービス等の報酬改定に伴い、障害者自立支援給付審査支払等に係る電算システムを改修します。

〔財源内訳〕 民生費国庫補助金 77万円、一般財源 77万円

●福祉施設光熱費高騰対策事業（277万円）

【予算説明書 9・10 ページ 障害者福祉総務費・老人福祉総務費】
（担当課：福祉支援課・高齢者支援課）

物価高騰の影響により、光熱費が上昇していることから、市内福祉施設の負担軽減を図り、安定的かつ継続的な福祉サービスの提供を確保するため、光熱費の高騰に伴う経費について支援します。

給付金額：入所系事業所	40万円（定員61人以上）
	25万円（定員41人以上60人以下）
	15万円（定員1人以上40人以下）
通所系事業所	12万円
訪問・相談系事業所	6万円

対象施設：障がい者施設、介護保険施設及び高齢者施設のうち県の障害者支援施設
・介護施設等光熱費高騰対策支援金の対象外となる施設

〔財源内訳〕 一般財源 277万円

●福祉施設食材価格高騰対策事業（504万9千円）

【予算説明書 9・10 ページ 障害者福祉総務費・老人福祉総務費】
（担当課：福祉支援課・高齢者支援課）

物価高騰の影響により、食材価格が上昇していることから、市内福祉施設の負担軽減を図り、安定的かつ継続的な福祉サービスの提供を確保するため、食材価格の高騰に伴う経費について支援します。

事業内容：次の①と②を比較し、低い方の額を補助する。

- ①食材料費の対前年増加額
令和8年度の食材料費－令和7年度の食材料費
- ②補助金の交付上限額
補助基準額×利用者数
入所施設 21,600円（利用者1人当たり）
通所施設 6,400円（利用者1人当たり）

対象施設：障がい者施設、介護保険施設及び高齢者施設のうち県の障害者支援施設
・介護施設等物価高騰対策支援事業補助金の対象外となる施設

〔財源内訳〕 一般財源 504万9千円

●＜新規＞高齢者施設大規模修繕等支援事業（2,319万円）

【予算説明書 10 ページ 老人福祉総務費】
（担当課：高齢者支援課）

高齢者施設の利用者等の安全・安心を確保するため、老朽化に伴う改修・大規模修繕を行う民間事業者に対し、その費用を補助します。

事業主体：医療法人社団慈生会

事業内容：浴室、リフト入浴装置、トイレの改修

対象施設：ケアセンター^{はなぶさ}華房福栄
グループホーム^{はなぶさ}華房福栄
グループホーム^{はなぶさ}華房福栄2号館

補助額：773万円（1施設当たりの上限額×3施設）

〔財源内訳〕 民生費国庫補助金 2,319万円

●民間保育所等給食費物価高騰対策支援事業（90万円）

【予算説明書 10 ページ 児童措置費】
（担当課：子育て支援課）

物価高騰の影響に伴い、食材価格が上昇していることから、保護者に増額負担を求めることなく、栄養バランスや地産地消に配慮した給食の提供を行うため、民間認定こども園に対し、主食に係る価格高騰相当分を支援します。

事業内容：令和3年度と令和8年度の食材料費を比較し増額分を補助

対象施設：認定こども園 2園（萩幼稚園、萩光塩学院）

〔財源内訳〕 民生費県補助金 90万円

●生活保護費追加給付事業（2,216万6千円）

【予算説明書 11 ページ 生活保護総務費・扶助費】
（担当課：福祉支援課）

平成25年度から行われた生活保護費の大幅引き下げを違法とする令和7年6月の最高裁判決に基づき、生活保護費を追加給付します。また、追加給付を行うための体制整備に必要な経費を補正します。

事業内容：生活保護費の追加給付 1,884万9千円
体制整備（人件費及び事務費） 331万7千円

〔財源内訳〕 民生費国庫負担金 1,413万6千円、民生費国庫補助金 331万7千円
民生費県負担金 21万1千円、一般財源 450万2千円

●＜拡充＞萩まちじゅう博覧会展開事業（60万円）

【予算説明書11ページ まちじゅう博物館推進費】
（担当課：まちじゅう博物館推進課）

キリンビール株式会社の「人と人とのつながりをつくり、地域コミュニティを元気にする活動」への寄附事業に採択されたことに伴い、萩まちじゅう博覧会のプログラムとして地域で実施されている、文化活動を一堂に集めたイベントの規模を拡大することから、必要な経費を追加します。

〔財源内訳〕 商工費寄附金 60万円

●＜新規＞萩観光モデル創造事業（2,610万円） （債務負担行為：2,610万円）

【予算説明書11ページ 観光振興費】
（担当課：観光政策課）

萩市が掲げる構想や戦略の実現に向けて、官民が連携し、萩市の抱える観光課題を解決するための研究員を募集し、その研究員による観光モデルを創造する研究プロジェクトを、企業版ふるさと納税を活用して実施します。

事業の実施期間は、令和8年7月から令和9年7月までを予定していることから、令和8年度においては、企業版ふるさと納税をあなたのふるさと萩応援基金に積立てるとともに、債務負担行為を補正します。

事業期間：令和8年7月から令和9年7月まで（予定）

事業内容：①観光モデルの創造・提案
②所属企業や自身の強みを生かした構想や事業の提案

〔財源内訳〕 商工費寄附金 2,610万円

●萩往還梅林園休憩所屋根改修事業（275万円）

【予算説明書 12 ページ 公園費】
（担当課：観光政策課）

令和7年11月に盗難の被害にあった、萩往還梅林園休憩所の屋根を改修します。

[財源内訳] 雑入 100万円、市債 170万円、一般財源 5万円

●＜拡充＞学校給食用食材価格高騰対策事業（1,165万8千円）

【予算説明書12・13ページ 小学校保健体育費・中学校保健体育費】
（担当課：学校教育課）

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響により、食材価格が高騰していることから、これまでと同様に栄養バランスや地産地消に配慮した給食の提供を行うため、小中学校に対し、価格高騰分を支援します。

高騰対策補助額：小学校 88円／1食当たり
（1月補正後予算 81円／1食当たり）
中学校 105円／1食当たり
（1月補正後予算 97円／1食当たり）

[財源内訳] 教育費県補助金 1,066万7千円、一般財源 99万1千円

●就学援助事業（133万6千円）

【予算説明書12・13ページ 小学校教育振興費・中学校教育振興費】
（担当課：学校教育課）

国の要保護児童生徒援助費補助金の単価改正に伴い、必要な経費を補助します。

改正内容：新入学児童生徒学用品等（ランドセル・制服などの入学準備品）の単価改正

単 価：小学校 【改正前】57,060円 【改正後】64,300円（+7,240円）
※特別支援学級は上記の1/2
中学校 【改正前】63,000円 【改正後】81,000円（+18,000円）
※特別支援学級は上記の1/2

適用日：令和8年4月1日から遡及対応

[財源内訳] 教育費国庫補助金 5万8千円、一般財源 127万8千円